

テレビ番組制作ディレクター、美術館スタッフ、システムエンジニア、アーティスト、デザイナー、建築設計、ジュエリーデザイナー、編集者、ウェブマーケティング担当者、作家、プロダクトデザイナー、狂言師、まちづくりプランナー、アーティスト、彫刻家、企画営業、ファッションデザイナー、カラーリスト、イベントプランナー、公務員、福祉施設スタッフ、博士、内装設計、アーティスト、秘書、プライダルプランナー、ランディングページデザイナー、コンサルタント、研究者、映画制作 etc

同窓会 会員の近況報告

芸術工学が関わる分野は幅広い！
卒業生の進路や、学生の活動のバラエティの豊かさがそれを物語る。
ここでは、そのほんの一部をご紹介。

みんな、
何してるの？

作品展・活動報告 参加者 大募集！

芸工祭、同窓会 総会・親睦会の開催に合わせ、会員の皆様の作品展示&活動報告の場を設けたいと思います。仕事での作品や、趣味の作品などを発表してもよし。これを機に制作するもよし。作品の形態は映像・平面・立体・パフォーマンスなど、相談に応じます。
また、会社や仕事などを紹介する活動報告の展示なども募集いたします。リクルートや営業活動などのご利用も可能ですので、ご相談ください。

展示に関する諸費用(額装代、郵送費など)は同窓会で負担いたします。皆さまのご参加お待ちしています！

申込締切：10月12日(金)

申し込み・問い合わせ

萱光会 事務局

E-mail: nm02n29@sda.nagoya-cu.ac.jp

〒464-0083 名古屋市千種区北千種二丁目1番10号

今、
こんなこと
してます。

横田 理恵子 (第3期生 視覚情報デザイン学科卒業)

私の所属するブランドデータバンク株式会社はマーケティングの会社ですが、今年「LOCU(ロキュ)」というSNSを立ち上げました。LOCUは、結婚・恋愛のためのSNSで、感性や価値観の近い人と出会うためのサービスです。いわゆる”出会い系”とは異なり、真剣に結婚を考えている25歳以上の男女を対象とし、マーケティングのノウハウを生かした新しいサービスになっています。

システム開発は、同じく芸工卒業生(5期生)の野村亮之くんが起業し、取締役を務める株式会社sus4にお願いしました。Flashを用いた新しいSNSのインターフェース開発や、サービス面での助言など、東京・名古屋間での遠距離ではありましたが、プロジェクトメンバーとして参加してもらいました。

卒業後、こうした形で後輩と仕事をすることができるは大変うれしいことで、今後もあるらゆる場面で芸工での人脈を生かしていくべきだ、と思っています。



マーケティング
後輩の会社とのコラボで
SNSの立ち上げ

島 麻絵 (第3期生 視覚情報デザイン学科卒業)

『福祉施設で働く面白さとは』

奈良にある「たんぽぽの家」という福祉施設で働いている。ここでは40人もの障害のある人が手織りや陶芸、絵画などのものづくりのほか、ショップやカフェでの接客業をしており私はおもに彼らの表現を社会に発信する仕事をしている。グッズ販売やweb制作、展示会などを通じ、多くの表現に触れているが、その中にははつとするとても少なくない。

障害のある人をケア・サポートする立場でもあるため、時にはシビアなことに向き合わねばならないのだが、強烈な個性を持った彼らとの日々は、誰かに話したくなるようなわくわくする出来事でいっぱいだ。会うたびに仮面ライダーの強さを力説してくれる人、屋のラジオ体操を欠かさず披露してくれる人など、そしてそれを面白いと感じるスタッフが多いことも、この現場の魅力である。

福祉、障害のある人。なかなか近づきにくいかもしれないが、これを読んだ人が興味をもってくれれば嬉しい。

福祉×アート

障害のある人のアートを
デザインで社会に発信

新しく立ち上がった事業をはじめ、関連するwebです。どうぞご覧ください。

<http://www.ableart.com.jp/>

<http://popo.or.jp/>

<http://blog.livedoor.jp/shimasae51/>



福祉×アート

障害のある人のアートを
デザインで社会に発信



建築
設計監理
手を動かしながら
考える

所属:株式会社手塚建築研究所

佐久間 周一 (第4期生 生活環境デザイン学科卒業)

手塚建築研究所ではどんな規模でもファーストプレゼンテーションから基本プランの検討、実施設計図の作成、申請、現場監理までほぼ一貫して携わります。

ツールとしてはCADよりも模型とハンドドローイングを多用します。最初のプレゼンまでにアイデアスケッチを描くようにスタディー模型をじゅんじゅんつくります。その数は平均100個以上になり、詳細検討時も1/3、1/10といった大きなスケールの部分模型で検討します。詳細図面もほとんど手描きで、手を動かしながら考えることを重視しています。CADよりも考えた過程が残るため後戻りがなく、結果的に作業が早くなります。また、より自分の意図が表現でき、現場との意思疎通に役立ちます。

これまでに専門学校や宗教施設を補佐として、「陽を捕まる家」を中心となって担当し、現在も住宅の現場が進行中です。いずれ独立して事務所を構えることを思ひながら、充実した毎日を過ごしています。



WEBで起業
最新技術を握る
ネットベンチャー

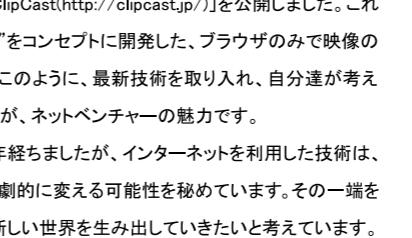
株式会社sus4
<http://www.sus4.co.jp/>

野村 亮之 (第5期生 視覚情報デザイン学科卒業)

在学中に株式会社sus4という会社を立ち上げました。起業して3年が経過した現在、名古屋を中心に東京、大阪で、ウェブサイト制作やウェブシステムを中心に受託案件を行っています。また、自社でサービスの企画を行い、開発から運用しています。

最近の実績では、2006年8月に「ClipCast(<http://clipcast.jp/>)」を公開しました。これは、「誰でも簡単に動画編集できる」をコンセプトに開発した、ブラウザのみで映像の編集ができるウェブサービスです。このように、最新技術を取り入れ、自分達が考えたサービスをすばやく実現できるのが、ネットベンチャーの魅力です。

インターネットが普及し始めた10年前ですが、インターネットを利用した技術は、まだまだビジネスや生活スタイルを劇的に変える可能性を秘めています。その一端を担う喜びを感じながら、これからも新しい世界を生み出していくたいと考えています。



大角 正樹 (第7期生 生活環境デザイン学科卒業・大学院芸術工学研究科在籍)

明治の文明開化の頃、海外に留学した日本人は、どれほど目を輝かせ一生懸命学んだだろう。時代や環境は異なるが、僕のイタリアのトリノ工科大学への留学も、別世界にいたのかのように毎日が新鮮だった。

メインの設計実習ではデザインのエスキスと理論の講義が組み合わされ、さらに建築旅行や芸術家のワークショップ、ガラス工場の見学等もあり、本当にいろいろな先生方が教えてくれた。多くの仲間に助けられたし、楽しみながらつくる彼らの姿勢がすばらしかった。このとにかく楽しそういう姿勢は、イタリアの生活すべてにおいて感じられたが、半年間でも実際に住んでみたからこそ体験できたことである。

留学手続きや現地での勉強は予想以上に大変だったが、それを含めとても貴重な経験だった。向こうの友人たちとの交流や、日記や膨大な量の写真・スケッチは今後につながる財産だ。明治の「開化」とまでいかなくとも、日本を見つめ直す意味でも、新しい視野が開けたと感じている。

香川 修三 (第9期生 生活環境デザイン学科 在籍)

共に笑い共に泣き、共に感動する

“24時間耐久セルフビルコンテストアーキファイト2007”(8/16-17開催)は大成功に終わった。お互いの顔の見えないコンペや、身内だけのワークショップ、常に模型だけの世界。それらへのもどかしさから、実現したのがこのコンテスト。違う大学の建築学生が一同に集結し、1/1のセルフビルドを、しかも24時間耐久で競い合う、なんて真夏の暑さびったりのコンテストだ。愛知と福井から7大学9チームが参加。会場は名古屋都市センター。テーマは“素材×光、small kid's space”。ゲスト審査員にみかんぐみの曾我部昌史氏を迎えての甘酸っぱい公開審査。最後は闘い合った学生、スタッフ、曾我部氏入り混じっての交流会。振り返りスライドショーで感無量。

これを皮切りに、ここ名古屋を全国の建築学生が集結する場にしていきたい。”アーキファイト”にはそんな夢がつまっている。



セルフビル
コンテスト
建築学生が集結！